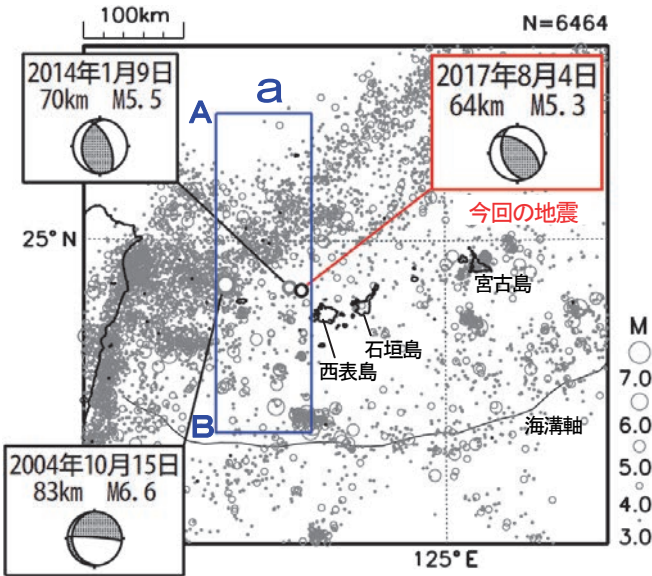


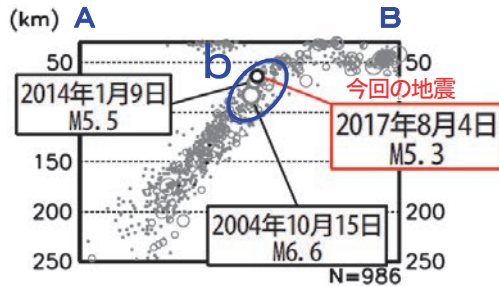
8月4日 西表島付近の地震

震央分布図

(2000年7月1日～2017年8月31日、
深さ 30km～250km、 $M \geq 3.0$)
2017年8月の地震を濃く表示
図中の発震機構は CMT 解

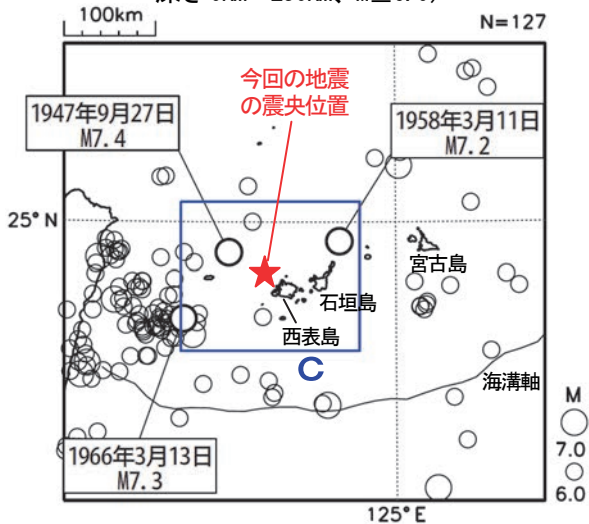


領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図

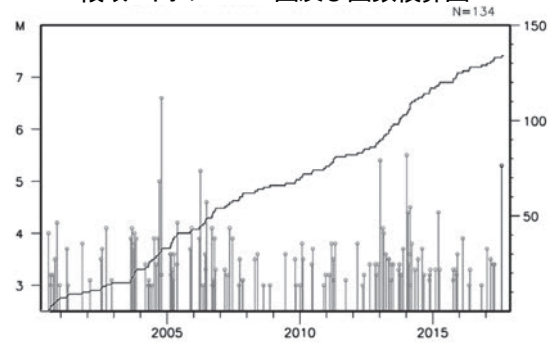
(1923年1月1日～2017年8月31日、
深さ 0km～250km、 $M \geq 6.0$)



2017年8月4日20時19分に西表島付近（西表島の北北西約30km）の深さ64kmでM5.3の地震（最大震度3）が発生した。この地震は発震機構（CMT解）が北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

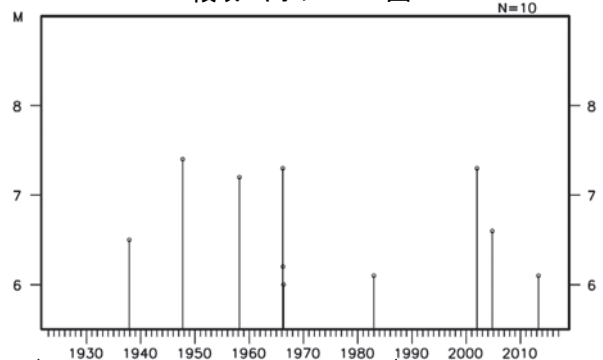
2000年7月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M5.0以上の地震が時々発生している。そのうち、2004年10月15日にはM6.6の地震（最大震度5弱）、2014年1月9日にはM5.5の地震（最大震度4）が発生していた。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、1947年9月27日にM7.4の地震（最大震度5）が発生し、石垣島で死者1人、西表島で死者4人の被害が生じている。（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域 c 内の M-T 図



(この期間は検知能力が低い)